

プレス公表（運転保守状況）

発生日	2025年2月14日		
号機	6	件名	原子炉建屋（管理区域）におけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）
<p>①</p> <p>【事象の発生】</p> <ul style="list-style-type: none">・2025年2月13日午後5時ごろ、6号機原子炉建屋2階（管理区域）で弁の検査準備作業に従事していた協力企業作業員が、階段歩行中に躓き、左脛をぶつけました。・作業中は、けがに気付いておらず、帰宅した後に左脛に傷と出血を確認したことから、医療機関を受診しました。・なお、本人に身体汚染はありません。 <p>【対応状況】</p> <ul style="list-style-type: none">・病院で診察の結果、「左下腿挫創」と診断されました。・今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。 <p>(2025年2月14日にお知らせ済み)</p>			

プレス公表（運転保守状況）

発生日	2025年2月21日		
号機	6	件名	タービン建屋（管理区域）における油漏れについて（区分：Ⅲ）
<p>【事象の発生】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2025年2月20日午後0時27分頃、6号機タービン建屋 中地下2階原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン（B）油タンク室において、潤滑油フィルター※1切替弁※2から潤滑油の漏えい（約4リットル）を確認いたしました。 その後、午後0時37分に消防署へ連絡し、現場を確認していただいた結果、午後1時50分に危険物の漏えいと判断されました。 漏えいした潤滑油については拭き取りを実施し、現在も微少な漏えいが継続しているため、油を受けるためのオイルパンを設置し拡大防止措置を実施しております。 なお、漏れた油に放射性物質は含まれておらず、外部への放射能の影響はありません。 <p>※1 タービン及びポンプの軸受へ綺麗な潤滑油を供給するために不純物を捕集するもの ※2 フィルターは2台あり、1台が不純物等により詰まりが発生した場合、残りの1台へ切り替えるための弁</p> <p style="text-align: right;">（2025年2月21日にお知らせ済み）</p> <p>【対応状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2月21日に開口部のフランジを復旧し、午後4時30分に潤滑油の漏えいが止まったことを確認いたしました。 今後、潤滑油が漏えいした原因調査を実施し、再発防止に努めてまいります。 			

プレス公表（運転保守状況）

発生日	2025年2月28日		
号機	-	件名	海水モニタ、モニタリングポスト等の一時的な測定データ表示不良について（区分：Ⅲ）
③	<p>【事象の発生】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2025年2月27日、午前6時00分頃、1号機の中央制御室に設置されている屋外放射線監視盤において、海水モニタ*1全7台および気象データが一時的に表示されないことを確認しました。 また、午前7時10分頃に同監視盤において、モニタリングポスト全9台の指示値が一時的に表示されないことを確認しました。 その後、当該海水モニタ、気象データおよびモニタリングポストの測定状況を確認したところ、表示されていない期間も含めて正常に測定ができていることを確認しました。 なお、当該期間のプラントからの放射性液体廃棄物の放出はなく、排気筒モニタ*2を含めたすべてのプラントパラメータに異常がないことを確認しており、外部への放射能の影響はありません。 <p>*1：海水モニタ 放水口における海水中の放射線を測定する装置</p> <p>*2：排気筒モニタ 建屋内の空気を環境へ放出する際の放射線を測定する装置</p> <p style="text-align: right;">（2025年2月28日にお知らせ済み）</p> <p>【対応状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査の結果、屋外放射線監視盤のデータ受信装置*3に27秒の時刻ズレが発生していたことを確認しました。 データ受信装置の仕様上、標準時間から25秒以上ズレが生じると、データ伝送が出来ないため、表示不良となったものです。 時刻ズレが発生した原因については、メーカーを交えて確認中です。 <p>*3：データ受信装置 モニタリングポスト等から集約したデータを中央制御室などへ伝送する装置</p>		

プレス公表（運転保守状況）

発生日	2025年3月7日		
号機	-	件名	大湊屋外エリアにおけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）
<p>④</p> <p>【事象の発生】</p> <ul style="list-style-type: none">・2025年3月6日午前11時50分頃、大湊屋外エリアにおいて、鉄筋組立作業に従事していた協力企業作業員が、鉄筋の切断作業をするために結束線で固定している鉄筋を横方向にずらしたところ、結束線が切れ、下部鉄筋との間に左手薬指と中指を挟み負傷しました。・そのため、業務車にて医療機関へ搬送しました。 <p>【対応状況】</p> <ul style="list-style-type: none">・病院で診察の結果、「左手環指打撲傷」「左手中指末節骨骨折」と診断されました。・今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。 <p style="text-align: right;">(2025年3月7日にお知らせ済み)</p>			

プレス公表（運転保守状況）

発生日	2025年3月10日		
号機	6	件名	6号機非常用ディーゼル発電機（C）制御盤室での発煙について（区分：Ⅲ）
<p>【事象の発生】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2025年3月10日午前10時04分頃、6号機非常用ディーゼル発電機（C）の制御盤室にて発煙を確認し、初期消火により午前10時18分に発煙が止まったことを確認しました。 その後、午前11時45分に公設消防による現場確認の結果、非火災と判断されました。また、発煙の発生した箇所は、制御盤内にある温度変換器につながる変圧器であったことを確認しました。 なお、ディーゼル発電機制御盤は点検中であり、ディーゼル発電機は保安規定における要求台数を満足しており、原子炉安全上に影響はありません。 <p style="text-align: right;">（2025年3月10日にお知らせ済み）</p> <p>【対応状況】</p> <p>⑤ 現場調査の結果、変圧器につながる温度変換器を交換した際の、配線接続の誤りであることを確認しました。</p> <p>3台ある非常用ディーゼル発電機に関する温度変換器の交換作業を順次進めていましたが、新しい温度変換器は、変圧器からの接続端子位置が変更されていました。</p> <p>工事前に、当社、元請企業、施工会社にて、型式変更の留意点をまとめた上で当該工事を行っており、非常用ディーゼル発電機（A）（B）の制御盤では正しく作業が行われていたことを確認しています。</p> <p>一方で、今回の（C）の際に、作業を行っていた2名のうち1名が代わっていたこともあり、型式変更に伴う留意点などが十分に引き継ぎされていなかったため、接続誤りが起きたものと推定しています。引き続き原因調査を行い、対策を検討してまいります。</p>			

【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

号機	7	件名	7号機設備故障に伴う衛星電話の一部使用不能による運転上の制限の逸脱について (区分：Ⅱ) 7号機設備故障に伴う衛星電話の一部使用不能による運転上の制限の逸脱からの復帰 について (区分：Ⅱ)	発生日	2024年11月21日 2025年1月14日 2025年1月27日 2025年1月31日
号機	-	件名	モニタリングポストの一時的な測定データ表示不良について (区分：Ⅲ)	発生日	2025年1月27日